

## 2019年度 第7回 理事会 抄録

日時： 2019年10月19日(土) 13:30～17:30  
場所： TKP ガーデンシティ PREMIUM 神保町  
出席： 理事： 半田、斉藤、森本  
網本、小川、清宮、黒澤、佐々木、白石、大工谷、高橋(哲)、  
高橋(仁)、田中、谷口、友清、中川、藤澤、松井、山根、吉井  
監事： 長澤  
欠席者 理事： 内山、梶村、大淵 ※下線:協会業務による欠席  
監事： 太田、辺土名

### I. 審議事項

(全11題)

1. 常勤専従役員の増員について	(半田会長)	承認
常勤専従役員の公募を行った結果、1名(大工谷新一氏)の応募があり、10月7日の常勤役員要件審査委員会の結果を経て、常勤専従役員への就任が承認された。		
2. 常勤専従役員の増員に伴う業務執行分掌変更について	(半田会長)	承認
常勤専従役員の増員に伴う業務執行分掌の変更について、以下の通り承認された。		
国際事業支援課担当	内山 靖→大工谷新一	
障がい児(発達障がい児)領域担当	森本 榮→大工谷新一	
理学療法業務領域担当	斉藤秀之→大工谷新一	
3. 東京都理学療法士協会への第58回日本理学療法学会(2023年)の開催協力依頼について	(半田会長・WCPT2023準備委員会委員長)	承認
2023年に予定される第58回日本理学療法学会(2023年)の開催協力依頼について、同年6月に東京都内で開催されるWCPT2023学会総会にあわせ、東京都理学療法士協会に開催協力を依頼することについて承認された。		
【主な意見】		
・世界の冠たる理学療法技術を提供できる講師の招へいも検討する。		

4. 臨床実習において学生が実施可能な基本技術の水準について	(大工谷常務理事)	承認
<p>臨床実習の手引き第6版の発刊が遅れているが、その一部として作成された本水準については、可及的に早期に正式なものとして会員へ公表する必要があることから、一部修正意見を反映したうえで公開することが承認された。</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「診断」という言葉は慎重に取り扱う必要があり、「評価」へ変更する。</li> <li>・新生涯学習制度との整合性はとれているか。→妥当である。</li> <li>・「臨床実習の手引き第6版」はいつ発刊されるのか。 →来年度中に発刊する予定である。</li> </ul>		

5. 各種規程の改定について	(大工谷常務理事)	承認																				
<p>組織・規則等検証委員会にて検討を行った規程の改定について審議され、承認された。主な改定内容は以下の通り。</p> <p>◎現行規定の改定案</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象規程</th> <th>変更概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定款</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総会の権限に名誉会員の承認を追加</li> <li>・専務理事を「1人」から「1人以内」に変更</li> <li>・公益法人では副会長の順位付けは不要のため削除</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>組織規則</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定款変更に伴う変更</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>職員採用の手続きに関する規則</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定款変更に伴う変更</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>決裁規程</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専務理事不在時の場合の代決を変更</li> <li>・決裁規程別表を役員・組織職制の一部を変更</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>公印規程</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学会公印に対して電子公印が利用可能に変更</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>顧問及び相談役の委嘱に関する規程</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参照先の条番号不備による変更</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>選挙規程</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選挙管理委員会の職務、選挙の告示と日程、代議員の選出方法（現行の運用に合わせたかたち）に変更</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table> <p>◎新規規程案</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象規程</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>従業員貸付金規程</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福利厚生強化の一環として、貸付金制度を設けた。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●定款 <ul style="list-style-type: none"> <li>・専務理事は0.5人などの取扱いが可能か。→整数のみである。</li> </ul> </li> <li>●組織規則 <ul style="list-style-type: none"> <li>・会長の短期間不在の場合に分掌を副会長間で協議するとあるが、出張なども含まれるか。 →不測の事態を想定している。出張など事前に指示を出せる場合は会長代理ということによい。</li> </ul> </li> <li>●従業員貸付金規程</li> </ul>			対象規程	変更概要	定款	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総会の権限に名誉会員の承認を追加</li> <li>・専務理事を「1人」から「1人以内」に変更</li> <li>・公益法人では副会長の順位付けは不要のため削除</li> </ul>	組織規則	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定款変更に伴う変更</li> </ul>	職員採用の手続きに関する規則	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定款変更に伴う変更</li> </ul>	決裁規程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専務理事不在時の場合の代決を変更</li> <li>・決裁規程別表を役員・組織職制の一部を変更</li> </ul>	公印規程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学会公印に対して電子公印が利用可能に変更</li> </ul>	顧問及び相談役の委嘱に関する規程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参照先の条番号不備による変更</li> </ul>	選挙規程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選挙管理委員会の職務、選挙の告示と日程、代議員の選出方法（現行の運用に合わせたかたち）に変更</li> </ul>	対象規程	概要	従業員貸付金規程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福利厚生強化の一環として、貸付金制度を設けた。</li> </ul>
対象規程	変更概要																					
定款	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総会の権限に名誉会員の承認を追加</li> <li>・専務理事を「1人」から「1人以内」に変更</li> <li>・公益法人では副会長の順位付けは不要のため削除</li> </ul>																					
組織規則	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定款変更に伴う変更</li> </ul>																					
職員採用の手続きに関する規則	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定款変更に伴う変更</li> </ul>																					
決裁規程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専務理事不在時の場合の代決を変更</li> <li>・決裁規程別表を役員・組織職制の一部を変更</li> </ul>																					
公印規程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学会公印に対して電子公印が利用可能に変更</li> </ul>																					
顧問及び相談役の委嘱に関する規程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参照先の条番号不備による変更</li> </ul>																					
選挙規程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選挙管理委員会の職務、選挙の告示と日程、代議員の選出方法（現行の運用に合わせたかたち）に変更</li> </ul>																					
対象規程	概要																					
従業員貸付金規程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福利厚生強化の一環として、貸付金制度を設けた。</li> </ul>																					

- ・働き方改革の一環として「同一労働同一賃金」が求められており、多くの企業ではパート職員も含めた福利厚生が広がっている。適用範囲について、公益社団法人として問題ないか確認してほしい。
  - 他の規程も含めて職員に関する規程を検討する予定である。
- ・委任について、規程によらない事項については会長の決裁ではないか。
  - 事務長から会長に変更する
- その他
  - ・災害時に士会事務局が被災した場合の援助はあるのか。
    - 現行の規定で、30万円を緊急援助金として支出できる。その後、必要に応じて100万円を上限に救援活動の費用などを拠出するなどはある。激甚災害の場合は300万円を積み立てることにしているが、それでは足りない場合に備えて2,000万円の積み立てをしている。

6. 台風15号、19号による豪雨災害に対する年会費免除等について (半田会長、内山副会長、斉藤副会長、森本副会長)	承認
<p>2019年9月、10月に発生した台風15号、19号による豪雨災害について、本会が定める大規模災害とすることについて審議され、承認された。</p> <p>これに伴い、被災された会員に対し、「会費減免・見舞金等の支給に関する規程」に則り、見舞金ならびに会費の免除を行う予定である。</p> <p><b>【主な意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JRATはJMATと一緒に行動し、終了する。理学療法士としては、住まいの問題として、泥をかきだすなどの仕事も重要として支援することも検討できないか。           <ul style="list-style-type: none"> <li>→医療とリハの支援フェーズは異なる。東日本大震災の被災地もいまだに支援を継続しており、幅広い活動ができるほうがよい。</li> <li>→素案を作って提出する。</li> </ul> </li> </ul>	

7. 理学療法士作業療法士国家試験に係る要望書の提出について (半田会長)	承認
<p>理学療法士作業療法士国家試験に関して、医道審議会理学療法士作業療法士分科会に、理学療法士作業療法士国家試験制度改善検討部会および理学療法士作業療法士国家試験出題基準改定部会の設置を求める要望書を提出することについて承認された。</p> <p><b>【主な意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共用試験の導入についても提案してほしい。           <ul style="list-style-type: none"> <li>→今回の要望とは別の議論として進めていく。</li> </ul> </li> </ul>	

8. 新入会員の承認について (半田会長、内山副会長、斉藤副会長、森本副会長)	承認
<p>2019年8月16日～2019年10月1日の間、新たに申請をした正会員847名の入会について承認された。また、復会者29名、休会者87名、退会者53名、未納退会取消者138名、休会経過退会者13名であったことが併せて報告された。</p>	

9. 新生涯学習制度における認定・専門理学療法士制度について (斉藤副会長)	承認
<p>2021年4月から開始される新生涯学習制度における認定・専門理学療法士の認定制度について、前期・後期研修を含めた新生涯学習制度の基本設計案として提案され、組織運営協議会での提示について承認された。</p>	
<p><b>【主な意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登録理学療法士のカリキュラムに臨床実習指導者講習会を必須とすることはできるのか。 →臨床実習は国の制度なので慎重に対応する。</li> <li>・認定理学療法士の試験について、全分野の試験を作成するのか。する場合、問題が作成できるのかと思うので賛成しかねる。また、認定理学療法士が定義として臨床を担保するものであれば、解剖学・生理学は外してよいのではないか。</li> <li>・大学院の取扱いについて試験免除などの優遇措置はできるか。 →今後の検討事項である。</li> <li>・認定と専門の位置づけについて両論併記となっているが、登録→認定→専門の階層性ではなく、臨床と研究という並列の考えのほうがよい。</li> <li>・専門理学療法士の分野について、たとえば運動器でも膝は強いが肩は弱いという方なども多い。狭くなっているほうがよいのではないか。</li> </ul>	

10. 55周年記念事業について	(半田会長)
<p>47 都道府県への理学療法の啓発に資するイベントについて事前調査した結果を踏まえ、新聞広告、啓発グッズ作成、都道府県に対して事業助成金(上限100万円)を支払う案が提示され、組織運営協議会で提案することが承認された。</p>	
<p><b>【主な意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Yahoo ニュースなどバナー広告も検討してよいのではないか。</li> <li>・オリンピック・パラリンピックの両方のタイミングで出すことはお願いしたい。</li> <li>・理学療法週間にテーマをあわせるとオリンピック・パラリンピックという意図とずれる可能性があるので整合性を取ってほしい。</li> </ul>	

11. 役員報酬額の決定について	(半田会長)
<p>専務理事の決定に伴い、役員報酬額について承認された。</p> <p>■役員報酬(月額) ※2019年10月から2020年3月の6ヶ月 常勤専務理事 106.25万円</p>	

## II. 報告事項

(全15題)

### 1. 2019年度 第2四半期職務執行状況報告

(半田会長、内山副会長、斉藤副会長、森本副会長、大工谷常務理事、高橋(哲)常務理事、吉井常務理事、網本常務理事、梶村常務理事、黒澤常務理事、白石常務理事)

2019年度第2四半期の業務執行状況について報告された。

#### 【主な意見】

- ・厚生労働省のタスク・シフティングに関して現状はどのようなことが考えられているのか。  
→障がい者手帳用の書類作成を理学療法士にという提案があった。報酬がないと受けられないと回答したい。また、急性期の指示を包括的指示としてもらうことを提案している。理学療法士の教育レベルを引き上げることで医師が仕事を任せられる環境を作ることが大事である。
- ・登録理学療法士のカリキュラムは認められたが、その内容についてはどこでオーソライズしていくのか。  
→骨格が決まった段階なので、細かいところは生涯学習課で検討しているところである。
- ・新人研修ガイドライン委員会の業務は作成までなのか。理学療法概論作成委員会は発行となっており、作成後の周知は委員会ごとに検討するのか会として統一するのか。  
→新人研修ガイドラインは2020年度上半期に発行を予定しており、そのための費用も2020年度予算として申請している。  
→印刷・発行後の取扱いなどは協会の方針に則る。
- ・訪問看護財団との連携の進捗を教えてください。  
→看護師と理学療法士が連携して働ける図を作っている。  
→リハが必要な人を切るようなやり方にならないようにということは財団の会長との共通認識である。
- ・リガラボのアクセス分析はされているか。  
→閲覧者の出入りの分析をしているところ。コンテンツの充実とあわせてデータを取る、スポンサーを広げることを含めて検討しないといけないという認識はしている。

### 2. 2019年度実施の日本理学療法士協会代議員選挙の選挙告示・実施要綱の報告

(高橋選挙管理委員会委員長)

2019年度実施の日本理学療法士協会代議員選挙の選挙告示・実施要綱について報告された。

#### 【主な意見】

- ・役員選挙で代議員が投票しなかったことについて、投票は権利か責任か。責任なのであれば未投票者を会員に開示して、次の選挙で会員の判断に委ねるのが筋ではないか。  
→会員から負託を受けているにも関わらず選挙で投票しないことは問題である。  
→国会でも白票、棄権などの手段がとられている。投票は無記名であり、慎重に対応してほしい。
- ・代議員の数を減らすという提案があったがどうなったのか。  
→定時総会に提案し否決されたので現行通りである。

3. 第54回日本理学療法学会（徳島）大会報告・監査報告  
(齊藤副会長、太田監事、長澤監事、辺土名監事)

2019年5月に開催された第54回学会（徳島）について、2019年9月23日に監査が終了し、大会報告・監査報告がなされた。

4. 専従役員行動録について（9～10月） (半田会長、齊藤副会長、森本副会長、大工谷理事)

専従役員の9～10月分の行動録について報告された。

5. 事務局報告について（9～10月） (大工谷理事)

9～10月の事務局報告がなされた。

6. 2019年度第6回理事会の第3号議案「公衆衛生講座での寄付講座開設について」の名称修正について  
(半田会長)

第6回理事会の第3号議案「公衆衛生講座での寄附講座開設」について、「奨学寄附金」とすべきところを「寄付講座」と誤記載していたことについて報告と訂正がなされた。

7. 第7回一般介護予防事業等の推進方策に関する検討会における関係団体等ヒアリング提出資料の報告  
(森本副会長)

第7回一般介護予防事業等の推進方策に関する検討会（10月21日開催予定）における関係団体等からの意見聴取が行われることおよび発表資料について報告された。

8. 令和二年度診療報酬改定の要望項目 (森本副会長)

令和二年度診療報酬改定の要望項目について報告された。

9 団体要望において本会から以下2点を要望している。

1. ADL維持向上等体制加算の施設基準等の一部見直し
2. がん患者リハビリテーション料の外来算定・対象疾患の拡大

3 団体要望においては本会から以下5点を要望している。

※項目の番号は要望書記載の番号を示している

- I.2 リハビリテーション実施計画書および目標設定等支援・管理シートに関する負担軽減の提案【タスク・シフティング含む】
- I.3 外来リハビリテーション診療料における医師の診察頻度及びリハビリテーションの進捗状況の把握（カンファレンスと診療録への記載）の負担軽減の提案【タスク・シフティング含む】
- II.1 急性期病院における休日リハビリテーションの普及
- III.2 療養病棟における標準的算定日数を超えた要介護被保険者の疾患別リハビリテーション料の減算の見直し
- III.4 外来患者における早期リハビリテーション加算・初期加算の対象疾患制限の撤廃

9. 指定規則等検証委員会 中間取りまとめについて (指定規則等検証委員会 伊橋委員長)

指定規則等検証委員会の中間取りまとめについて報告された。

10. 日本理学療法士学会報告 (高橋 (哲) 常務理事)

学会運営審議会の承認・報告事項について報告された。

1. 運営審議会審議 (9月1日)

(1) 承認

- ・日本スポーツ理学療法学会 IFSPT 総会出席について
- ・日本地域・支援工学・教育合同理学療法学会学術大会 2021 の企画書等について
- ・2020年度) 第25回日本基礎理学療法学会学術大会の企画書等について
- ・2021年度心管理理学療法学会と糖尿病理学療法学会合同開催
- ・第26回日本基礎理学療法学会学術大会の企画書等について
- ・運営幹事の増員に関する伺い (動物に対する理学療法部門)

(2) 報告

- ・協賛承認報告(SIG 姿勢保持講習会 2019 in 大阪)\_日本小児理学療法学会
- ・協賛承認報告(SIG 姿勢保持講習会 2019 in 大阪)\_日本支援工学理学療法学会
- ・後援の依頼について (日本理学療法教育学会)
- ・研修会の後援について(ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法部門)
- ・第9回日本リハビリテーション栄養学会学術集会における職種別企画セッション「日本理学療法士学会 栄養・嚥下理学療法部門合同企画」について
- ・日本動物理学療法研修会主催 2019年度座学セミナーの後援依頼について

2. 2019年度第2回倫理審査部会 (7月20日)

- ・H31-001「介護度の改善が介護費用の軽減と介護スタッフの働き方に与える影響」条件付き承認
- ・H30-003「腰部脊柱管狭窄症患者に対する運動療法の効果を検証すること」承認

3. 第6回常任理事会 (8月31日)

(1) 承認

- ・理学療法学会広告掲載に関する要綱の改定について

11. 常任理事会 会議報告（8月31日）

（大工谷理事）

8月31日に開催された第6回常任理事会の結果について報告された。議題は以下の通り。

協議事項：

- 1.臨床実習指導者講習会中央講習会の開催および都道府県講習会の講師・世話人について
- 2.2019年度新設委員会の予算追加・変更について
- 3.「アニマルワールドカップ 2020 in 東京」への後援、ブースの出展依頼について
- 4.理学療法学広告掲載に関する要綱の改定について
- 5.WCPT サブグループの現状について
- 6.国際事業展開にかかる事務補助について

報告事項：

- 1.臨床実習指導者講習会、講師・世話人の変更について
- 2.WCPT 関連の報告事業について
- 3.協会指定研修の2020年度開催回数について
- 4.資金繰りについて

12. 業務執行理事会 会議報告（8月31日）

（大工谷理事）

8月31日に開催された第2回業務執行理事会の結果について報告された。議題は以下の通り。

協議事項：

- 1.2020年度の重点事業（案）について
- 2.生涯学習制度における認定理学療法士ならびに専門理学療法士制度について
- 3.広報事業方針について

13. 2020年度の重点事業（案）について

（斉藤副会長）

2020年度の重点事業（案）について、以下の通り報告された。

重点目標	2020年度重点目標	2020年度重点事業
理学療法士の質 の向 上	理学療法士業務の「核」の設定	理学療法士業務の「核」の設定
	理学療法管理者の育成強化	理学療法管理者のための人財育成プログラ ムを開発
		2030年に向けた実践管理者養成事業
理学療法士の職 域維持拡大	予防理学療法の創出、業務確立 (2/3年)	予防(公的保険外)理学療法の標準化事業
	理学療法士の働き方及び処遇へ の取組み(2/3年)	需給対策事業
		国家試験の厳格化

14. 臨床実習指導者講習会、講師・世話人の変更、ならびに今年度の中央講習会の開催について  
(大工谷理事)

臨床実習指導者講習会の講師・世話人の変更、ならびに今年度の中央講習会を2月29日・3月31日の年1回の開催（東京衛生学園専門学校）となることについて報告された。

15. 今夏の参議院選挙を終えた本会・連盟としての総括について  
(半田会長)

今夏の参議院選挙を終えた本会・連盟としての総括について提示され、組織運営協議会開催前に発表すること、また後日各団体HPにおいて公表することについて報告された。

以上